

第2回 中野市行政改革推進委員会 会議録（概要）

日 時	令和5年11月7日（火）14:00～15:00
会 場	中野市役所5階 会議室52・53
出席者等	<p>【正副会長】 市川会長、平野副会長</p> <p>【委員】 関委員、堀崎委員、高橋委員、小林委員、西野委員、井藤委員、竹内委員、清水委員、丸山委員</p> <p>【市】 栗林総務部長</p> <p>【事務局】 阿藤企画財政課長、北村企画財政課長補佐、江澤主事</p> <p>【傍聴者】 なし</p> <p>【報道機関】 北信ローカル、テレビ北信</p>
欠席者	<p>【委員】 木村委員</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会（13名中11名出席、過半数の出席者有りのため会議成立） 2 あいさつ 3 協議事項 （1）第4次中野市行政改革集中改革プランについて（令和5年度中間点検） 4 その他 5 閉会
資料	資料1 第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和5年度中間点検）

1 開会（総務部長）

2 あいさつ（会長）

3 協議事項（議長：市川会長）

（1）第4次中野市行政改革集中改革プランについて（令和5年度中間点検）

資料1：第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和5年度中間点検）

【委員】

高丘・平野の両保育園を今後、民営化していく中で、近年「いじめ」などの問題が新聞等でよく目にするが、今後の指導監督など、市としての関わりについてはどのように考えているのか。

【事務局】

保育園の民営化についても、施設の指定管理などと同様に、外部へ出したことにより行政の役目は終わりということには絶対にしない。今後も国、県、市で必要に応じ指導などをしていき、民間業者から相談があれば、親身となって関わりを持ち、対応をしていきたいと考えております。

【委員】

チャット GPT の活用について、具体的にどのような業務で何件の活用があったかお聞きしたい。また、今回は中間報告ということですが、着地点を設定して取り組んでいかないと、やりっぱなしでそのまま流れていかないか。

【事務局】

業務の件数につきましては記載のとおり 145 件ということですが、具体的に言うと、アイデア出しなど、文章の作成をする上で活用したという状況でございます。

また、今後も各業務で活用できる見込みがあるかどうかを、今年度中に見極めていきたいと考えております。

【委員】

電子契約についてですが、先ほど「545 件」という説明がありましたが、全体としてはだいたい何%の導入になるのかを教えてください。

また、残りの契約については、今後増加していくという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

クラウド契約につきましては、全庁的には8割程度と認識しております。中でも建設業務関係の契約では9割は超えているが、物品等の購入については、いまだ紙での契約がある状況でございます。

今後につきましては、特に物品を購入している事業者さんに対し、電子契約によるメリットなどを、周知していければと考えております。

【委員】

テレワークの導入について、最終的にはどのようなイメージになるのか。例えば職員の何割かをテレワークにするイメージなのか、着地点がもし定まっているのであれば教えていただきたい。

【事務局】

テレワークにつきましては、職員の何割をテレワーク体制にするかなどの考え方が今のところ、具体的に定まっておりません。

システムについては、災害等の様々な理由により出勤できない職員に対してテレワークに切り替えることをメインに考えております。また、部署によってはシステムが活用できる部署とそうでない部署があり、更に検討を進め、実施要領の作成を進めていきたいと考えております。

【委員】

RPA等の導入について、固定資産税業務で導入されたと説明がありましたが、具体的には導入後どのような効果があったのかをお聞きできればと思います。

また、機械による作業ということで、人的なミスなどもかなり減るのではないかと。

【事務局】

具体的には外部のデータを、従来は職員による手作業で全て入力しており、効率が悪かったのですが、RPAの導入により機械による自動作業が可能となり、人員削減とまではいかないが、担当職員における業務量の削減などの成果があったということでありませう。またRPAの導入によりミスが減ることも成果としては大きいと感じており、次回の委員会では更に具体的な導入効果をご説明できればと考えております。

【委員】

アウトソーシングについてですが、外部へ委託する中で、例えばセキュリティの関係などはどのように考えているのかをお聞きしたい。

【事務局】

アウトソーシングにおいて、セキュリティの関係については第1優先で取り組んでいかなければならない課題だと思っております。その中でも民間で出来るものについては外部へ出すことにより、民間のノウハウを活かした取組みや専門性の高い取組みが可能となることで、より良いサービスの提供が見込まれる業務を選定し、アウトソーシングとしているところですが、先ほど説明させていただいたとおり、市民課の窓口業務については戸籍等々を扱う中で、どうしても民間業者では、取り扱える業務が限られてしまい、ご指摘のとおり、まずはセキュリティや法的なものについては真っ先に確認し検討しなければならないと考えております。

また、外部へ委託する際の業者選定については、庁内で業者選定委員会を開き、業者の実績やセキュリティ面など様々な説明をいただき、いかに厳しく運営等出来ているかどうかというところも注意深く確認しております。

4 その他

5 閉会（市川会長）

終了 15時00分